

各位

上場会社名 株式会社 アドテックエンジニアリング
 代表者 代表取締役社長 向井 敏雄
 (コード番号 6260)
 問合せ先責任者 経営企画室長 草野 健
 (TEL 03-3433-4600)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

この度の東日本大震災により、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げ、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

最近の業績動向を踏まえ、平成23年2月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年9月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,842	101	51	10	1.32
今回修正予想(B)	4,274	213	180	216	27.69
増減額(B-A)	432	112	129	205	
増減率(%)	11.3	111.0	250.4	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年9月期第2四半期)	2,427	△71	△87	△615	△97.16

平成23年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年10月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,048	339	235	161	20.38
今回修正予想(B)	9,080	512	428	401	51.72
増減額(B-A)	1,032	173	193	239	
増減率(%)	12.8	50.9	82.2	148.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年9月期)	6,317	152	91	△456	△67.63

修正の理由

1. 平成23年度9月期 第2四半期(累計)個別業績について

プリント配線板業界におきましては、新興国における携帯電話・パソコン需要が旺盛であるとともにスマートフォン(高性能携帯電話)およびタブレット型端末の普及が本格化しました。

このような情勢のもと、売上高については、中国で携帯電話向けHDI基板生産用コンタクト露光装置、韓国・台湾ではスマートフォン・ノートPC向けパッケージ基板生産用のデジタルイメージング露光装置及びハイエンドのコンタクト露光装置の販売が好調でありました。また、自動化装置におきましては、液晶関連製造装置の販売を新たに開始いたしました。この結果、当第2四半期累計期間の売上高は、4,274百万円と前回発表予想の3,842百万円に比べ432百万円増加する見込みです。

営業利益については、リーマンショック後の研究開発費・販売促進費等の経費削減を継続したことにより、前回発表予想の101百万円を112百万円上回る213百万円となる見込みです。

経常利益については、支払利息等の減少により、前回発表予想の51百万円を129百万円上回る180百万円となる見込みです。

四半期純利益については、法人税等調整額が減少し、前回発表予想の10百万円を205百万円上回る216百万円となる見込みです。

2. 平成23年度9月期 通期個別業績について

通期業績予想につきましては、プリント配線板業界における投資意欲が引き続き好調で、特に中国・台湾・韓国においてデジタルイメージング露光装置の販売が急伸し、前回発表予想を大幅に上回る見込みとなります。また、自動化装置も液晶関連製造装置及び自動成形ラインの販売が前回予想を大幅に上回る見込みであります。この結果、通期の売上高は前回発表予想の8,048百万円に比べ1,032百万円増加し9,080百万円となる見込みです。

利益面においては、原価低減策を継続的に実行する予定であるとともに、売上高が大幅に増加する見込みであるため、営業利益は前回発表予想の339百万円に比べ173百万円増加し512百万円、経常利益は前回発表予想の235百万円に比べ193百万円増加し428百万円、当期純利益は前回発表予想の161百万円に比べ239百万円増加し、401百万円となる見込みであります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年2月8日発表)	—	0.00	—	7.50	7.50
今回修正予想	—	—	—	15.00	15.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成22年9月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

修正の理由

前回予想より、当期純利益は401百万円と大幅に増加する見込みであり、株主還元策の一環として前回配当予想の一株当たり7.5円から15円へと変更させていただきます。

株主の皆様への安定かつ継続的な配当をする事が、企業としての最優先課題である、という認識ではありますが、永続的な企業活動のための内部留保も必要と考えておりますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて算定したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値から乖離する可能性があります。

以 上